

高山幼稚園（酒井多寿代園長）で2月24日、年長児46人が畳を材料にしたフォトフレーム作りを楽しんだ。

今年で7回目と

なるこの催しは、松葉製畳（森

下町1）社長・松葉清幸さん（53）が「中国産や人工素材が増える中、国産イグサを使った畳に触れてほしい」という思いと、20年ほど前に長女と次女が同園でお世話になった恩返しを兼ねて行っている。

園児たちは、松葉さんが3日間かけて用意

した人数分のフォトフレームの枠に、カラフルな水玉模様の折り紙を貼ったり、ハート形や毛玉状の飾りでデコレーションしたりした（左写真）。

奥村紗良ちゃんは「畳

は良い香りがしました。写真を入れてリビンクに置きたいです」と話していた。

